

港湾行政マネジメントの確立に向けて

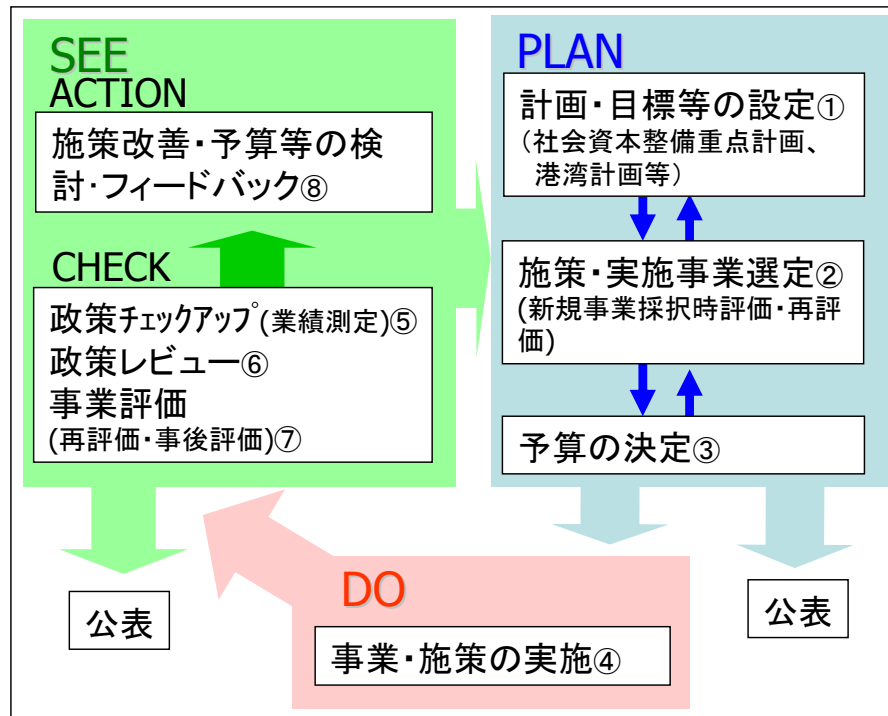
～ 国民・ユーザーの視点に立ったより効率的な港湾行政への転換 ～

1. 港湾行政マネジメントの基本方針

国土交通省ではNPM(ニュー・パブリック・マネジメント)の考え方を取り入れた行政マネジメントサイクル(Plan-Do-Check-Actionサイクル)の確立を目指し、種々の取り組みを行っている。

国土交通省港湾局においても、既に、業績測定、施策の評価、個別事業評価などを行い港湾行政マネジメントに取り組んでいるが、今後さらに取り組むべき課題があるため、それらの課題を解決し、**港湾行政マネジメントを確立するために、マネジメントの4つの基本コンセプトに基づいた“基本方針”を設定した。**

■現状の取り組み



■現状の課題

1. 行政活動による成果をわかり易く国民に説明しているか？
2. 効率的な行政運営、現場の改革に資する指標や業績評価が実現しているか？
3. CheckからAction、さらにPlanへのフィードバックが十分か？

■問題点の解決へ

NPMの考えに基づく「**港湾行政マネジメントサイクル**」の確立を目指す。

■マネジメントの基本コンセプト

- ① 定量的な目標の設定と成果主義
- ② 顧客主義
- ③ 競争原理
- ④ 現場主義

■港湾行政マネジメントの“基本方針”

1. 港湾ユーザーならびに最終顧客である国民に対する行政の説明責任(アカウンタビリティ)の徹底
～ 国民的視点に立った成果重視の港湾行政への転換～
2. 国民本位の効率的で質の高い港湾行政マネジメントの実現
～ 現場における港湾行政マネジメント改革～

2. 港湾行政マネジメントの基本的な枠組み

【ポートコミュニティで取り組む港湾行政マネジメント】

多数の関係者が関連する港湾行政マネジメントでは、国（本省、地方整備局、港湾事務所等）によるマネジメント、国と港湾管理者が連携したマネジメント、さらに国、港湾管理者、港湾ユーザーなど港湾の日々の活動に関わる関係主体であるポートコミュニティ（港湾・地域共同体）が一体となったマネジメントへ段階的に発展させる必要がある。

【多重ループの港湾行政マネジメントサイクル】

事業執行部門の短期的な視点での経常的なマネジメントサイクルと、より広域的な視点・中長期的な視点での成果の進捗や施策の動向をチェックする戦略的な港湾行政マネジメントサイクルという多重ループのマネジメントを進める必要がある。

【港湾の特性等に応じた戦略・目標等の設定】

多岐にわたる港湾行政を国民や港湾ユーザーにわかりやすく説明することが重要であり、全国共通指標にとどまらず、港湾の特性やおかれている状況が個々の港湾で異なることから港湾事務所等毎にそれぞれの戦略に基づき主体的に独自の指標を設定すべきである。

【港湾行政マネジメントのサイクル】

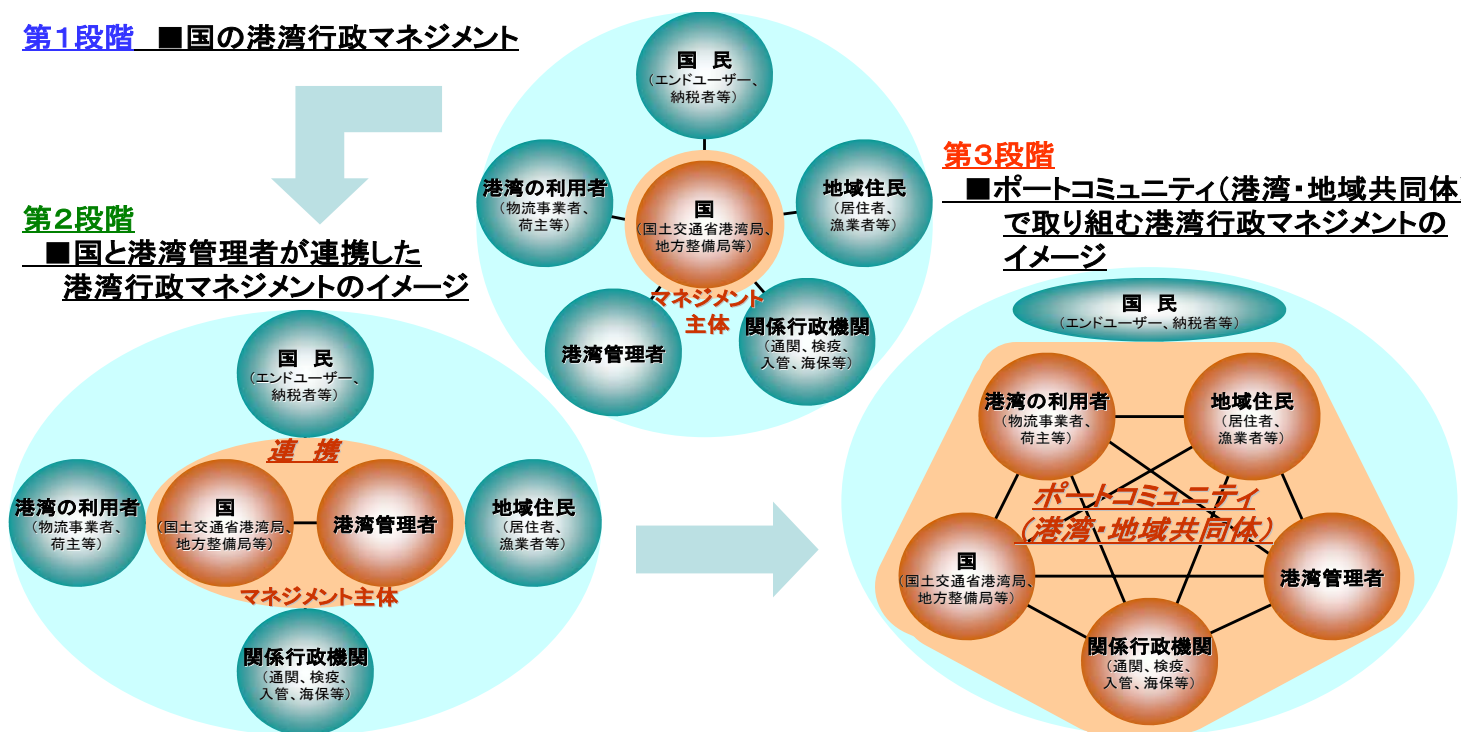
マネジメントにあたっては1年を1サイクルと考え、年初に目標値をたてて「年次実行プラン（仮称）」で公表し、年度末～次年度にかけて、指標の進捗状況等に関する評価・分析を行い「年次成果レポート（仮称）」で公表、その成果を次年度のマネジメントへフィードバックする。

■ポートコミュニティで取り組む港湾行政マネジメントに向けて

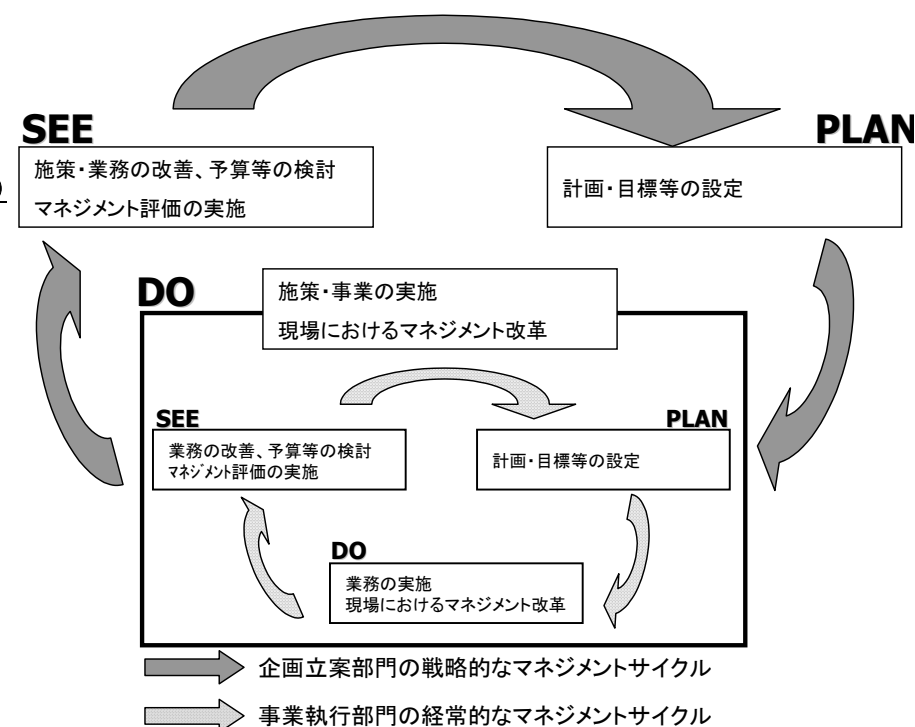
第1段階 ■国の港湾行政マネジメント

第2段階

■国と港湾管理者が連携した港湾行政マネジメントのイメージ



■多重ループの港湾行政マネジメントサイクル



3. 港湾行政マネジメントの確立に向けて

(1) 国民的視点に立った成果重視の港湾行政への転換

① 港湾から受ける効用と国民・ユーザーの認識

- ・今後ともより一層国民・ユーザーが認識できる効用と指標とのギャップを埋める工夫が必要
- ・CS(顧客満足度調査)などによる国民や利用者のニーズに対する満足度の把握計測を行うなど、顧客主義のより一層の浸透が必要

② 指標フォローアップとデータ取得の効率化の推進

- ・ITを活用した成果チェックの速報性などに努めることが必要

(2) 現場における港湾行政マネジメント改革

① 現場における課題・施策・指標の検討

- ・各現場において、課題、対応策、指標などによる評価という一連のプロセスを踏み、問題意識、共通認識などを高める

② 港湾や執行部門特有の課題に対応した独自指標の検討

- ・全国共通指標にとどまらず、その港湾や執行部門特有の状況などを反映した独自指標を現地の執行部門において検討
- ・個々の職員が目標やその実現達成を測定する指標などについて十分な認識を持ち、日々の業務の実施、改善などにあたるべき

③ 指標に関わる作業と執行部門等におけるモチベーションの向上

- ・単なる資料の作成業務、指標をフォローアップし報告するだけの作業といったマネジメントシステムには陥らないような工夫が不可欠

(3) 港湾行政マネジメントサイクルの確立に向けて

① ポートコミュニティによるマネジメントを目指した取り組み

- ・港湾は多数の関係主体が関連していることから、国を中心としたマネジメントから、港湾管理者と連携したマネジメント、さらに将来的には港湾ユーザー、関係行政機関などのポートコミュニティ(港湾・地域共同体)によるマネジメントにまで発展
- ・各主体ごとに単独で実施可能な事項や協力して行うべき事項等に関して、マネジメントに関わるルール作りが必要

② 港湾の全分野における取り組み

- ・先行的導入に向けた検討を行った物流分野におけるマネジメントの早期試行
- ・安全など他の分野における検討を行い、より早期に港湾行政全体についての総合的なマネジメントを確立

■ 港湾行政マネジメントの進め方

